

見つけたら駆除と情報提供に協力してください

被害の拡大防止や発生状況の把握のため、クビアカツヤカミキリを見つけたら、駆除と情報提供に協力してください。情報提供をする際は、成虫やフラスを発見した日時や場所などを担当課へ伝えてください。
※可能であれば写真を撮影してください



駆除方法 幼虫は樹木に入り込んでいるため薬剤などで駆除してください。成虫は見つけ次第踏みつぶすか、ハンマーで叩くなどして、確実に駆除してください

担当課

- 自宅や会社などの私有地で発見した場合＝環境政策課(☎27-5596)
- 公共施設などの市有地で発見した場合＝公園緑地課(☎27-2769)

防除用品を配布します

本年4月3日(月)からスタート

市内に被害樹木がある土地の所有者などに対して防除用品を配布します。

対象

- 次のいずれかに該当する人
- 被害樹木の土地所有者または同一世帯の人
- 土地所有者などから被害樹木がある土地の管理を任されている人

配布する物

- 防除用ネット(被害樹木の幹周の2倍程度)
- スプレー式薬剤

受取方法

必要書類を持って環境政策課へ

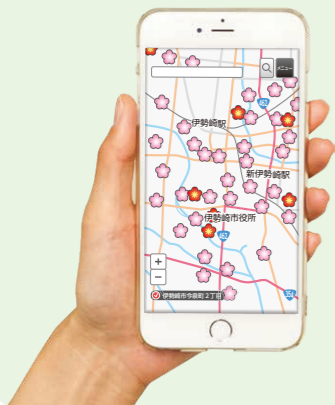
用意する物

- 樹木の被害状況が分かる写真(樹木全体やフラスなどの被害箇所が写っている物)を2枚以上
- 運転免許証などの本人確認ができる物
- ※ 土地の管理を任されている人は、土地所有者からの委任状が必要



▲防除用ネットは被害樹木に巻き付けて他の樹木への被害を防ぎます

「ぐんまクビアカマップ」で被害状況を確認できます



県は県内のクビアカツヤカミキリの被害状況などを確認できる電子地図「ぐんまクビアカマップ」を作成しました。スマホやパソコンなどから確認できます。ぜひ利用してください。

調べる

「マッピングぐんま」を検索する。
「自然・環境情報」から「ぐんまクビアカマップ」を選択



◀「マッピングぐんま」はこちら

クビアカツヤカミキリからサクラを守りましょう

東毛地域をはじめ県内でクビアカツヤカミキリによる被害が拡大しており、市内でもサクラなどの樹木に被害が発生しています。被害が進行すると、倒木などにより人に被害が生じる恐れがあるほか、樹木への薬剤の注入や枯れていない樹木の伐採を行わなければならない場合もあります。被害の拡大防止や発生状況の把握のため、クビアカツヤカミキリを見つけたら、駆除と情報提供に協力してください。

問い合わせ 環境政策課(☎27-5596)

クビアカツヤカミキリに注意してください

クビアカツヤカミキリによる被害

クビアカツヤカミキリは、サクラやウメ、モモなどのバラ科の樹木に寄生して、幼虫が木の中を食い荒らします。クビアカツヤカミキリによる被害が進んだ樹木は、**枯れたり倒れたりする危険性**があります。



▲被害のあった樹木の断面

【被害樹木】

サクラ、ウメ、モモ(ハナモモ)、スモモ(プラム)、プルーン(西洋スモモ)



被害を確認する際のポイント

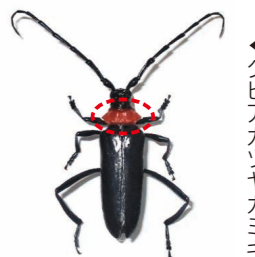
- 樹木の根元や枝分かれした幹の上などにフラスが出ている
※フラスは、幼虫のふんと木くずが混ざった棒状のものです
- 成虫の脱出孔がある
※脱出孔は約2~3cmの縦に長い楕円形



クビアカツヤカミキリの特徴

体全体は光沢のある黒色で、胸部(首部)が赤色です。体長は触覚を含めず2~4cm程度です。幼虫は樹木内で2・3年かけて成長し、さなぎになります。成虫の活動期間は6月から8月ごろまでで、幹や樹皮の割れ目に産卵します。繁殖力が強く、1匹の雌が1,000個以上産卵した例もあります。

※クビアカツヤカミキリは特定外来生物に指定されています。販売や飼育、生きたまま持ち運ぶことは禁止されています



◀クビアカツヤカミキリ